

感謝と責任・希望を胸に

成人のつどいで29人が大人の一步

一之宮まち協だより

第45号

平成30年2月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報部

高山市一之宮町3087
電話 53-2424



記念写真に納まる、新成人はじめ恩師の先生、主催者のみなさん

「新成人を祝うつどい」が1月2日に一之宮公民館で開催され、新たに大人の仲間入りをした29人のうち26人が出席して参加者から祝福を受けました。

つどいは一之宮町まちづくり協議会や一之宮支所、新成人とその親など20人で構成する実行委員会が企画つどいには小中学校時代の恩師や来賓のほか、新成人の家族約40人も参加しました。

式典は、会場の拍手で迎えられて新成人の入場で開始。主催者を代表して田邊重敏実行委員長がお祝いのあいさつを述べ、続いて記念品が新成人代表の石山雄大さんに手渡されました。

新成人はそれぞれ自己紹介して、周りへの感謝や将来の夢、責任などについて語りました。

続いて小野功貴さんと山平名那子さんが代表して「はたちの抱負」を発表しました。警察官の小野功貴さんは、「県民の信頼に応えられるよう自分の行動に責任を持った社会人になりたい」、音楽教師を目指す山平名那子さんは、「中学校の時に学



自己紹介する新成人のみなさん



「想い出のアルバム」の上映



会場全員で乾杯!

んだ「磨く」の精神で自分を磨き続け、一之宮町に恩返しをしたい」と抱負を述べました(左上写真)。市が募集した「はたちの思い一行詩」では、佳作に選ばれた三木花音さんの作品が読み上げられ表彰状が手渡されました。

國島芳明市長は「人生は一瞬一瞬が決断。それに責任を持ち、逃げない大人になってほしい」と述べ、また、持参した20万年前にできたといわれる南極の氷を紹介して、遠大な時間の流れで生きていることを自覚してほしいとエールを送りました。

新成人を代表して坂本将太さんがお礼のことは述べた後、新成人の門出を祝って、小中学校時代の恩師の瓜田恵美先生の発声で会場全員で乾杯をしました。

スクリーンでは、幼少期からの「思い出のアルバム」が上映され、会場は新成人たちが成長してきた足跡を懐かしく振り返っていました。

最後に、新成人がスピッツの「空も飛べるはず」を合唱し、続いて会場全員で「ふるさと」を歌って閉会しました。

29人の新成人のみなさんが今後大人として、自分の目指す「自己実現」に向けて活躍することを祈念します。

◆ 新成人のみなさん (敬称略)

- 石垣航大、石山雄大、井ノ下大樹
- 大久保玲央、小野功貴、小野桃花
- 金桶浩也、黒木甚太、小坂彰榮
- 小林廉、坂本将太、佐藤麻凜
- 関杉嘉紋、田中十喜子、田畑賢汰郎
- 内木麻優子、中嶋由真、野中塁
- 日比野文哉、古田聡、洞口侑摩
- 牧田竜治、松田駿斗、三木花音
- 役田綾音、山越美里、山之内幹人
- 山平名那子、横山恵里



「空も飛べるはず」を歌う新成人のみなさん

一筆 啓上 気ままにエッセー



子供達から学ぶことは沢山あります。

一之宮町の少年剣道は昭和58年3月に設立されました。その頃他町村では、すでに少年剣道大会が行われていました。旧宮村も乗り遅れることがない様にと、この剣道部員の方の熱意でも役員になりました。

でも私には子供達を指導する技量は全くありませんでした。指導本を見ながら、または中学生の練習を見ては自分なりに勉強してきました。自分の子供も剣道を習い始めるようになり、一緒に練習をしていました。仕事で遅く帰って来た時は夕飯なしで体育館に走ったこともありました。

少年剣道と私

水口 美良 さん(野添)

少年剣道に携わって38年、当時の子供達から声をかけてもらうことが沢山ありますが、名前が思い出せなくなっています。自分の体力・気力が落ちてきていますのでいつまでも指導者はいませんが、頑張っていたと思います。今まで子供達をご指導くださいました諸先生方に感謝申し上げます。ありがとうございます。

最後になりましたが、宮少年剣道では部員を募集しています。これからも地域の皆様、よろしくお願ひします。

加させてもらい、試合に勝つ喜びも体感でき、いつしか練習するのが楽しみになってきました。試合はとも緊張しますので、少年剣士の気持ちはよくわかります。でも指導的立場からは、厳しい態度で臨んでいます。

今私は69歳になろうとしています。子供達と一緒に剣道をするのは60歳が目標でしたが、子供達が練習に頑張っている姿を目にする、辞めることができなくなってきました。

今は素晴らしい指導者にも恵まれ、子供達は上達してきました。



少年剣士と指導者のみなさん

話題のさんぽ路

リハビリに特化したデイサービス「みやりは」をオープンしました！

黒木 建治 (絆場株式会社代表 問坂下)

多くの皆さまにご協力を頂きながら、問坂下地区に「みやりは」を昨年9月にオープンすることができました。

「みやりは」は宮のリハビリする所という意味のネーミングです。通常のデイサービスではおもに入浴介助や食事提供などの介護サービスを提供しますが、「みやりは」ではリハビリサービスを提供します。

「みやりは」が提供するサービスは、①利用者の活動意欲を引き出すための計画立案と実践により、生き甲斐のある生活の創造 ②『痛みが和らいだ』『力がついた』と効果を実感できるサービス提供の心掛け

③近い将来には高齢者に限らず、スポーツ選手など若い世代や、痛みの治療や健康増進を望む一般の方の利用——など地域に必要なことされる施設を目指します。

要介護・支援者の中には「楽しみや生き甲斐が無い」と言われる方がみえます。人の活動は筋力などの機能にのみ規定されるのではなく、個々の主体性が重要なのだと考えます。「みやりは」で失いかけた、あるいは新たな「楽しみ」や「生き甲斐」を見出すきっかけが出来たらと思います。そして幅広い世代に利用頂くことで、地域に必要な財産となるよう今後も頑張りたいと思います。

最近では『足腰がちょっと弱ったので運動したい』と希望される方が、高山市に認めて頂くことで介護保険適応にて利用できる場合があります。利用ご希望の方はお気軽にご相談ください。問合せ先は、701-80052



「みやりは」のスタッフのみなさん

頑張ってます！

地元で頑張っている若い人にスポットをあてて紹介

黒木 正人 さん(41) 《段》

●お仕事は？
機械部品の製造です。

●趣味は？
今ハマっていることは、3人の子とも、特に末っ子の娘と一緒にスキーをする事です。

●地元の好きなところは？
自然が豊かなところ。夏でも涼しくて快適です。

●これからやってみたいことは？
スポーツのイベントに参加したい。球技に挑戦して試合をしたいです。



●宮(こひと)言！
自然豊かな地元をみんなで盛り上げていきましょう！

一之宮短歌会作品より

見上ぐれば五重の塔はかそけくも揺れるがども
見ゆ雲の流れに 三本藤次郎

朝々を目覚めて眺む南天の真赤な房たれ心わま
す 三本藤次郎

それぞれの人生背中に負いながらも総てを忘れ
て唄うカラオケ 永田和子

生き活きと唄う友等に支えられ新しきチャレン
ジの年始まる 永田和子

交差点行き交う車ゴウゴウともう戻れないむか
しの静けさ 森本浩資

新年の参拝車は途切れなく駐車場係の足は棒と
なり 森本浩資

図書館案内



寒い日が続きますね。学習や読書に図書館をお役立てください。

<一之宮分館 蔵書点検による休館のお知らせ>

2月20日(火)~23日(金)

期間中、一之宮分館へは入館できません。

本の返却は返却ポストをご利用ください。CD・DVD・ビデオや高山市図書館以外の図書館から借りた資料は開館日にカウンターで返却してください。

<今月の特集>

★お部屋でチクチク あみもの・小物作り

暖かい家の中で楽しめる、あみものや小物作りの本を紹介します。

★絵本であつたまる

温泉やお風呂がテーマの絵本で身も心もあつたまりましょう。

<おはなし会のご案内>

2月17日(土)午前10時30分~ スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

2月~3月行事予定

2月

- 20日(火) 町内会長会
- 20日(火) 確定申告相談会(22日まで)
- 24日(土) 体験の風スノークルージング

3月

- 6日(火) 中学校卒業式
- 10日(土) サタディサークル閉講式
- 11日(日) 町民そり大会
- 20日(火) 町内会長・班長会
- 22日(木) 小学校卒業式
- 23日(金) 小中学校修了式

ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

ひとみ
仁美ちゃん 平成27年5月8日生まれ

お父さん: 中村 達也さん 《本通中》
お母さん: 中村 琴美さん

仁美(ひとみ)という名前は、やさしく思いやりの心を持って幸せに暮らせるようにと願いを込めてつけました。

やんちゃをすることもありますが、歌うこと・踊ることが大好きでみんなを笑顔にしてくれる我が家のアイドルです。



たくさん遊んで、たくさん食べて、たくさん寝て、どんどん大きくなってね。これからも成長を楽しみにしています。

お知らせ

◆町民そり大会参加者募集

モンテウススキー場で雪上ゲームを楽しみませんか。

プラスチック製のそりに乗ってタイムトライアルで競い合います。みなさんのご参加をお待ちしています。

◇期日: 3月11日(日)

◇会場: モンテウススキー場

◇受付: 午前9時

◇開始: 午前10時

◇宝探し: 午前11時30分頃~

部門は「ひとりで滑る」と「ペアで滑る」の2部門です。

お申込みは1日発行のチラシでお申し込みください。

※当日申し込みもできますが、事前申し込みには参加賞があります。

詳しくは1日配布のチラシをみてください。



◆水無神社式年大祭動画配信

昨年5月に開催された式年大祭の様子を写したビデオが市HPの公式YouTubeで配信中です。

準備や練習の様子なども収録されてい

ます。

ケーブルテレビで見逃した方などにぜひ見ていただければと思います。

◆宮峠トンネル説明会

宮峠トンネルの工事の進捗状況や周辺地域の水の現況、将来的な水対策について説明会が次の通り開催されます。東町内会が対象ですが、その地区以外での参加も受け入れますので希望される方は出席ください。

◇日時と場所: 2月7日(水) 問坂下集会場 2月9日(金) なごみ館
時間はどちらも午後7時からです。

◇内容: ・工事の進捗状況について

- ・地域周辺の水の現況と将来的な対策について
- ・質疑応答

◆確定申告相談(一之宮会場)

◇日時 2月20日(火)~22日(木)

◇時間 午前8時30分~午後5時15分

◇場所 一之宮支所

◇ご持参いただくもの

- ・印鑑、申告関係者のマイナンバーが分かるもの、来所者の本人確認書類、源泉徴収票など収入証明書類(原本)、所得控除証明書類(原本)など

年齢	男性	女性	合計	前年増減
0~14歳	169	156	325	-10
15~64歳	674	688	1,362	-43
65歳以上	340	476	816	±0
合計	1,183	1,320	2,503	-53
世帯数	818戸			-6

一之宮町の人口情勢(人)

2018年、年が明けてはや半ば飛驒の寒さはとても厳しい。けれど冬の雪景色はとても美しい。モンテウスヘスキーをしに行った時の事、リフトから降り、山々を一望した時、一面に連なる山々がなんともきれいで美しいのだろう。と感激した。

御嶽・乗鞍・槍・笠・・・の雄大な山々を見て心があらわれるように気持ちちがスリットとした。

若い頃は、滑る事に夢中で景色が美しいなんて感じたことは一度もなかったのにこう感じるようになったのも「年の功」かな(笑)

スキー場が近くにあり、とてもいい環境で生活しているのだから、家の中でゲームに没頭するのはもったいない。スキー・スノーボード・ソリ・・・、何でもいい。もっとウインタースポーツを楽しみたいものだ。(仁)

つぶやき...



地域の安全図り士気高揚 消防出初式勇壮に

消防出初式が1月5日に市内10会場で行われ、一之宮支団では宮中グラウンドで、消防団員や少年消防クラブ（宮中2年生）など総勢約120名の消防関係者が参加して実施されました。

出初式は消防関係者の仕事初めとして年始に行う行事で、消防組織の士気高揚と団結力強化を図るために開催されています。

式典では西倉副市長の式辞や黒木甚右エ門一之宮支団長からの謝辞が述べられ、引き続き「分列行進」が行われ、勇壮な「うず巻き」も披露されました。

表彰では、日頃の消防活動への尽力を称えて、御母衣勝義副支団長に消防庁長官表彰が授与されたのをはじめ、団員を支える家族も含め55名が表彰されました。

※平成30年度の市消防操法大会（小

晴天の下スペシヤルホリデイ 温かい豚汁大喜び

1月14日の冷たく澄み渡った青空のもと、モンデウススキー場で「モンデウススペシャルホリデー」が開催されました。

来場者に感謝を込めて毎年行われているこの行事、今年はおープニングとして紅忍（くのいち）の太鼓のパフォーマンスが始まりました。その後豚汁の振る舞いが行われ、来場者は寒さの中大喜びで順番に熱々の豚汁を受け取っていました。

続いて行われたガラガラ抽選会では、市内ホテルのペア宿泊券を始めリフト券や食事券など、豪華景品が



紅忍の太鼓でオープン

続々と当たり、スキーヤーでにぎわうスキー場に歓声がこだましています。（中島）



走りながら「うず巻き」をする団員ら

型ボンブ操法）は6月に地元一之宮町にて開催され、第2分団が出場する予定です。消防団では、自分のまち・みんなのまちを一緒に守るため、消防団員を募集しています。市内在住・在勤の18歳以上の方の方の積極的な応募をお待ちしています。（支所 地域振興課 牛丸）

子ども会も回収に一役 水無神社でどんど焼き

どんど焼きが水無神社で1月14日に行われました。

北陸地方では大雪に見舞われましたが、飛騨地方は寒いながらも日差しもあり、穏やかな天候の中で行われました。

氏子や子ども達など300名ほどが集まり、丁重な神事後、神社の古くなったお札などに火が放たれました。

左義長とも呼ばれるこの行事、一之宮では、朝のうちに子ども会が近所を回り、お札や松飾り、しめ縄などの飾り物を集める習慣になっています。今年もたくさん集まり、火も勢いよく燃え上がっていました。

寒い中でしたが、温められた甘酒がふるまわれ、集まった人は火を囲みながらおいしそうに飲んでいました。（山腰）



勢いよく燃え上がる持ち寄られた神符など

うまく滑れたかな 新1年生対象にスキー教室

今年小学生になる園児を対象にしたスキー教室が12月29日と1月9日の2回モンデウススキー場で行われました。

毎年まち協が主催して開催しているもので、今回はスキーが初めての子を中心に募集し、13人が参加して行われました。

参加者の中には少しは滑れる子もいて、指導にあたってはグループ分けをして行われました。

今回は12月の初回から十分な雪に恵まれ、子ども達はスキー学校の先生から、スキーでの歩き方や滑り方の基本について教えてもらい、スキーの楽しさを学んでいました。



先生から歩き方を教わる園児達

この教室が役に立って、小学生になってもスキーを楽しんでもらいたいと思います。

「ふるさと探検」で郷土料理の五平餅作り体験

1月13日に一之宮公民館において、まち協青少年育成部のサタデイサークル「ふるさと探検」に参加している宮小児童21名の内17名が、飛騨地方の郷土料理の「五平餅」作りを体験しました。

今回は、「飛まわり会」に講師をお願いし、青少年育成部の3名の女性部員もアシスタントとして加わって子どもと一緒に作りました。

参加した子ども達は、講師の指導を聞いて、レシピを見ながら、炊き上がった米を潰して形を整え、割り箸に巻き付け表面を炙（あぶ）る作業を行いました。タレはあぶらえを炒つてすり潰したものと、調味料で味を調えた味噌の2種類を作りまし。さらにフルーツポンチも作り、



あぶらえをご飯に付けていく子ども達

参加者全員で楽しくいただきました。この郷土料理体験が故郷の記憶の一ページの中に残ってもらえれば嬉しです。（伊藤）